

はしがき

コロナ以来日本から中国へ行くのにビザが必要でしたが、今年の11月30日からノービザに戻りました。私は中国の日本語学習者からデータを取って研究するスタイルをとっており、これまでに取り溜めておいた研究データが枯渇してきていましたが、これでまたデータを取りに行きやすくなります。

今年博士前期課程で修了し、中国の大学と日本の企業に就職していた元指導生二人から、もう一度博士後期課程に入って研究をしたいという相談がありました。現時点ではまだどうなるか決まっていますが、こういう人は頑張る傾向があるので、大学院に戻ってくることを期待しています。

2024年12月8日

(杉村泰 記)

名古屋大学言語文化研究会

杉村 泰 勝川 裕子

玉岡 賀津雄

執筆者一覽(掲載順)

杉村 泰	人文学研究科人文学専攻日本語教育学分野・教授
郝 文文	人文学研究科人文学専攻日本語教育学分野・博士後期課程
何 思瑩	人文学研究科人文学専攻日本語教育学分野・博士後期課程
許 賢科	人文学研究科・博士候補研究員
勝川 裕子	人文学研究科人文学専攻中国語中国文学分野・准教授
文 雪	上海大学外国語学院・講師
張 鄭越	上海大学外国語学院・学部生

目 次

杉村 泰	中国語の“去”、“来”、“回”の選択について1 —二者会話における第一話者が移動する場合(現在時)— …………… 5
杉村 泰	日本語の「行く」、「来る」、「帰る」と中国語の“去”、“来”、“回”の選択に関する 対照研究1 —二者会話における第一話者が移動する場合(現在時)— …………… 25
郝 文文	受動的意味を表す日本語の動詞「招く」と中国語の“导致”の対照研究 … 43
何 思瑩	程度副詞の連体修飾機能について —程度修飾を中心に— …………… 59
許 賢科	中国語の状語と補語の位置に置かれた“全”の意味機能再考 …………… 73
勝川 裕子	中国語における〈基点〉の認知 —“离”と「カラ／マデ」の対応を中心に— …………… 87
文 雪・張 鄭越	翻译美学視阈下 ChatGPT 在中日歌曲翻译中的应用研究 ……………101

『ことばの科学』のバックナンバーは名古屋大学学術機関リポジトリのページをご覧ください。

https://nagoya.repo.nii.ac.jp/search?page=1&size=20&sort=controlnumber&search_type=2&q=776

